勤医協中央病院に通院または入院された(通院または入院されている)患者さまへ

― 臨床研究の情報公開 ―

2026 年 8 月 25 日

勤医協中央病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さまの記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省等の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究情報を公開し、研究の対象となることを拒否できる機会を保証することが必要とされております。(研究対象患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることはいたしません)。

なお、本研究への協力を拒否された場合でも、今後の診療等において不利益を受けることは一切ありません。研究の対象となることを希望されない場合は、下記 9.問い合わせ先 までお申し出ください。

1. 研究課題名
   ジフェンヒドラミン中毒の初期治療標準化は困難だが可能である

2. 研究責任者(所属・職名)
   勤医協中央病院 救急科センター長 田口 大
   【指導医:救急科センター長 田口 大】
   (研究担当者:救急科 研修医 百町 悠)

3. 研究の目的と意義
   当院に搬送されたジフェンヒドラミン(市販の抗ヒスタミン薬・睡眠改善薬等)の過量服薬患者さまの初期対応や治療経過を調査します。二次救急病院における初期対応や ICU(集中治療室)での治療内容を分析・検証することで、標準的な治療プロトコルを検討し、今後の救急医療および中毒診療の質向上に役立てます。

4. 対象となる患者さん
   2023 年 1 月 1 日 ～ 2026 年 5 月 31 日の期間で、ジフェンヒドラミンの過量内服により当院救急外来を受診・搬送された患者さん 25 人。

5. 研究全体の実施期間
   承認日 ～ 2026 年 10 月 17 日(予定)

6. 研究の方法（使用する情報）

年齢、性別、服薬量、体重、服薬からの経過時間、症状、鎮静の有無、CT 検査、胃洗浄、活性炭投与、気管挿管、心電図変化、転帰など、電子カルテから得られる情報を過去にさかのぼって調査・解析します（後方視的研究）。

7. 試料・情報の他の研究機関への提供の有無と方法

他の研究機関への提供無し

8. 本研究における個人情報の管理責任者

勤医協中央病院 救急科センター長 田口 大

9. 問い合わせ先

〒007-8505 札幌市東区東苗穂５条１丁目 9-1

TEL:011-782-9111（代表） 救急科 百町 悠